

自動車用バッテリーのリサイクルに関するアンケート調査の概要

平成 16 年度経済産業省委託事業
調査機関：(株)三菱総合研究所

自動車用バッテリー（二輪車用含む）の販売・引取実態および回収した自動車用バッテリーの引渡実態を把握するため、平成 16 年 8 月及び 11 月に、自動車用バッテリーの最終販売者や解体事業者を対象にアンケート調査を実施した。調査対象 8 業種に対し 5,500 件を発送対象(未達数 82 件を含む)とし、回収数は 1,698 件(回収率 = $1,698 \div (5,500 - 82) = 31.3\%$)であった。

平成 15 年度実績による販売量と引渡量についての回答では、1 店舗当たりの平均仕入れ・販売量と引取量は図 A、B に示すとおりであり、カーショップやホームセンター等での販売量が多い傾向が見られた。一方、引取量についてはカーショップの量が多い一方、ホームセンターでは販売量に比して少ない傾向が見られた。

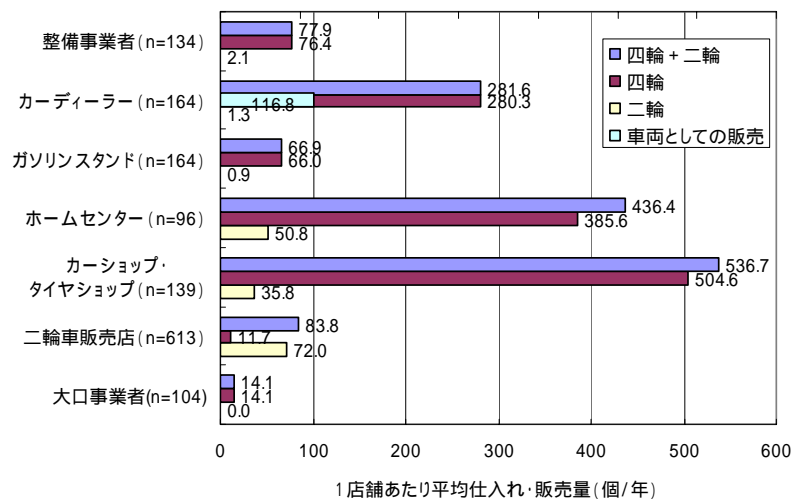


図 A 1 店舗当たりのバッテリー平均仕入れ・販売量

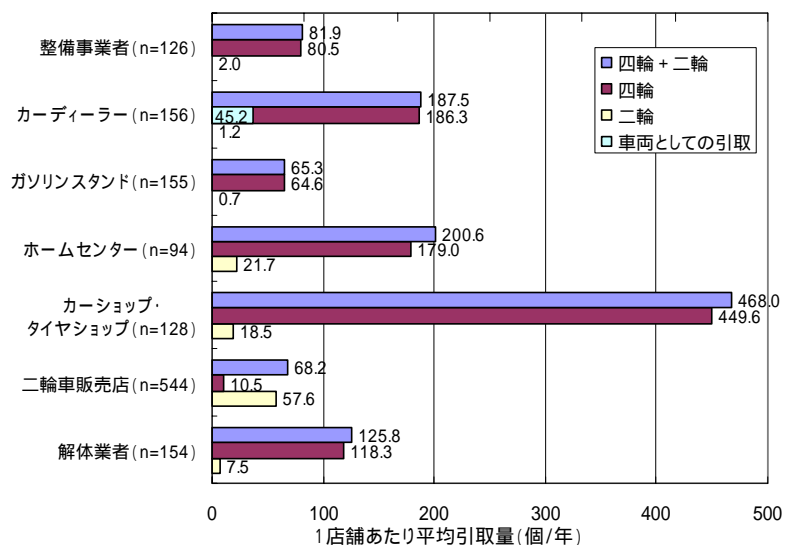


図 B 1 店舗当たりのバッテリー平均引取量

- 1 図 A、B ととも有効回答数 n は「四輪+二輪」の数値
- 2 「四輪+二輪」の有効回答数と「四輪」、「二輪」に関する有効回答数が異なる場合があるため、「四輪+二輪」の平均仕入れ・販売量と「四輪」の平均仕入れ・販売量、「二輪」の平均仕入れ・販売量の合計が異なる場合がある

「ここ1年」及び「2～3年前」の2時点の引渡実態に関する回答では、回収したバッテリーの引渡の際のお金のやりとりの状況については表Aに示すとおりであり、ここ1年、2～3年前とも逆有償ルートが存在しているという結果となった。

表A バッテリー引渡の際のお金のやりとり

(四輪車用)

		有効回答数	費用支払	無償引渡	売却
整備事業者	ここ1年	100	3.4	96.5	0.1
	2～3年前		3.0	94.8	2.3
バッテリー単体 ¹	ここ1年	95	3.5	96.4	0.1
	2～3年前		3.1	94.5	2.4
カーディーラー	ここ1年	125	3.1	94.1	2.8
	2～3年前		8.0	91.0	0.9
バッテリー単体 ²	ここ1年	92	2.0	96.7	1.4
	2～3年前		0.0	98.6	1.4
ガソリンスタンド	ここ1年	117	8.3	90.3	1.4
	2～3年前		7.0	91.6	1.4
ホームセンター	ここ1年	76	0.6	99.4	0.0
	2～3年前		0.4	99.6	0.0
カーショップ・タイヤショップ	ここ1年	91	14.3	82.6	3.1
	2～3年前		11.8	85.9	2.3
大口事業者	ここ1年	42	0.3	99.7	0.0
	2～3年前		0.0	100.0	0.0
バッテリー単体 ³	ここ1年	41	0.0	100.0	0.0
	2～3年前		0.0	100.0	0.0
解体業者	ここ1年	82	8.5	55.1	36.4
	2～3年前		7.4	55.6	37.0

大口事業者については、「自事業所内整備場でバッテリー交換時(車検時を除く)に発生」した場合、もしくは「自事業所内整備場で車検で交換した際に発生」した場合に限定

上表の数値は各業種別、時期別に費用支払、無償引渡、売却の個数から算出

ここ1年と2～3年前の両方に回答している店舗のみ

1 「解体業者(車両ごと引渡)」を除いて算出

2 「解体業者(車両ごと引渡)」と「中古販売店(車両ごと引渡)」を除いて算出

3 「廃車の引き渡し先」を除いて算出

(二輪車用)

		有効回答数	費用支払	無償引渡	売却
ホームセンター	ここ1年	59	0.9	99.1	0.0
	2～3年前		0.3	99.7	0.0
カーショップ・タイヤショップ	ここ1年	39	7.2	92.8	0.0
	2～3年前		4.5	95.5	0.0
二輪車販売店	ここ1年	419	12.9	86.9	0.2
	2～3年前		11.1	88.0	0.9
バッテリー単体 ⁴	ここ1年	381	13.0	86.8	0.1
	2～3年前		11.3	88.1	0.6

上表の数値は各業種別、時期別に費用支払、無償引渡、売却の個数から算出

ここ1年と2～3年前の両方に回答している店舗のみ。

4 「中古車店(車両本体ごと)」と「解体業者(車両本体ごと)」を除いて算出